

小山市立博物館

博物館だより

2017
3.15

64

第68回企画展



ヒトガタ

平成29年4月29日(土) ～7月2日(日)

～はらう・ねがう・のろう～



人の形をかたどったつくりものを「ヒトガタ」といいます。この展示ではヒトガタの中でも、特に呪術的な性格をもち、祭祀や年中行事に用いられてきたヒトガタに焦点をあて展示します。人々が思いを込める形の一つとして数多く用いられてきたヒトガタが、どのような役割を担い必要とされてきたのか、さまざまな事例をとおして紹介します。

古代から連綿と続くヒトガタをめぐる民間信仰の多様性ととも、その信仰の背景にある時代を超えた人々の願いや思いも感じていただければと思います。



- 開館時間 9時～17時 (入館は16時30分まで)
- 入館料 大人 200円(100円)
大・高校生 100円(50円)
中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金
- 特別無料開放日
5月4日(木)【みどりの日】
5月5日(金)【こどもの日】
5月18日(木)【国際博物館の日】
6月10日(土)・11日(日)・15日(木)【県民の日関連】



- 休館日
毎週月曜日(祝祭日を除く)、
祝日の翌日、毎月第4金曜日

- 1 大祓のヒトガタ(須賀神社 小山市)
- 2 ドウロクジン(長野県小谷村 長野市立博物館蔵)
- 3 友引人形(吉徳これくしょん蔵)
- 4 薬人形(日光市小百 栃木県立博物館蔵)
- 5 土偶3点(後藤遺跡・栃木市藤岡町 栃木県立博物館蔵)
- 6 ヒトガタ(下野国府跡・栃木市 栃木県教育委員会蔵)
- 7 厄払い人形(厄払い祭・岩手県湯田町白木野 福島県立博物館蔵)
- 8 目と胸に木釘がささったヒトガタ〔複製〕 9 胸に鉄釘がささったヒトガタ〔複製〕 (平城宮跡・奈良県奈良市 国立歴史民俗博物館蔵 原品:奈良文化財研究所蔵)
- 10 顔壺 複製(出流原遺跡・佐野市 栃木県立博物館蔵 原品:明治大学蔵)
- 11 地藏人形(大竹地藏堂・福島県福島市 福島県立博物館蔵)

- * 記念講演会 * 定員50名程度(先着順) 要予約・電話申し込み 4/11～
5月14日(日)13時30分～15時
「ヒトガタと人形(にんぎょう)の民俗」武蔵野美術大学教授 神野 善治氏
6月10日(土)13時30分～15時
「平城京のヒトガタと祭祀遺物たち」奈良文化財研究所 アソシエイトフェロー 浦 蓉子氏
- * 担当学芸員展示解説 * 予約不要 当日企画展示室集合(入館料必要)
5月20日(土)・6月18日(日)各13時30分～

地域の史跡へGO!

博物館と学校との連携事業の中で、博物館職員が地域の史跡を案内しながら解説を行う出前授業があります。1月のある日は、小学校3年生への出前授業。中世小山氏代々の居城であり、江戸初期には徳川家康の重臣本多正純が城主であった、祇園城跡でのフィールドワークでした。たくさんの見所の中から、子どもたちの反応が良かったものを紹介します。

1 城内から見える美しい景色

展望台南方には、小山氏の城であった長福城・鷲城、条件の良い日には富士山が望めます。北方には、観「晃」橋の由来である「日光」の山々が美しく連なっています。春には、城山公園内の150本のソメイヨシノが咲き誇り、桜の名所としても知られています。



2 防衛機能を備えた城

城は断崖絶壁の上に建ち、しかも崖下には思川が流れています。城内には、高く盛られた土塁や深く幅が広い堀が数々残されていて、祇園城が戦乱の時代を経てきた様子が感じられます。「重い鎧や弓矢を身につけ、攻撃をかいくぐって、この城にたどりつけるか？」という問いかけには、皆が一同に首を振るほどでした。平城と言えど重厚な造りを実感できます。

3 今も伝わる大イチョウの伝説

「祇園城落城の際に、姫が井戸に身投げをしました。姫はその直前、井戸のかたわらに簪を差しました。それが成長し、イチョウの木になりました。このイチョウの木は、姫の無念の思いが宿り、実なしイチョウになったそうです。それがこの大きなイチョウの木です。」の解説に、子どもたちは興味津々。姫や小山氏を偲んだ小山市の人々が代々語り継いできたこの伝説。今後は子どもたちが語り伝えていくことでしょう。

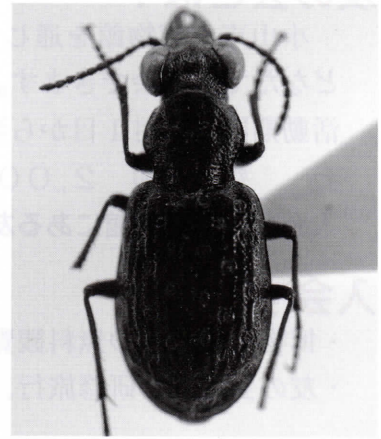
小山の歴史雑話

製鉄遺跡群と「兵」

茨城県古河市に所在する川戸台遺跡は、主に9世紀に製鉄・铸造が行われた遺跡として近年注目を集めています。周辺で同時期に操業した製鉄関連の遺跡としては、小山市東野田の金山遺跡が知られています。この他にも、栃木市や野木町などでも製鉄関連の遺跡が確認されており、9世紀の下野・下総の国界をまたぐ地域は、製鉄が盛んだったことがうかがわれるでしょう。しかし製鉄関連の遺跡は、次の10世紀になると、ほぼ確認できなくなってしまいます。鉄の需要がなくなるはずはないので、どこかで生産され続けていたことは間違いありません。時あたかも、下野の藤原秀郷や下総の平将門ら、武士の時代を切り開く兵たちが台頭する時代にあたります。下野・下総の国界周辺の製鉄関連遺跡群の消長は、兵たちの興隆とどのように関係するのか、今後の研究が待たれます。

「渡良瀬」の名を持つ昆虫

平成29年は、小山市が世界に誇る自然の宝庫「渡良瀬遊水地」が、ラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録されて、5周年という記念すべき年になります。渡良瀬遊水地は、栃木・埼玉・群馬・茨城の4県にまたがり、東京ドーム約700個分という広さを持つ、日本一大きな遊水地です。その大部分は、ヨシ原を中心とした湿地で、自然が豊かであり、多くの動植物の生息地となっています。中でも昆虫はこれまでに、約1,700種が確認されていますが、このうち23種は国指定の、50種は栃木県指定の絶滅危惧種となっており、まさに渡良瀬遊水地は、他に類を見ない貴重な昆虫の宝庫となっています。この貴重な昆虫の中に、「渡良瀬」の名を持つめずらしい昆虫がいます。それが「ワタラセハンミョウモドキ」です。



ワタラセハンミョウモドキ (当館蔵)

【和名】ワタラセハンミョウモドキ 【学名】*Elaphrus sugai*

【目・科】コウチュウ目オサムシ科

【RDB カテゴリー】絶滅危惧IA類（栃木県）絶滅危惧II類（環境省）

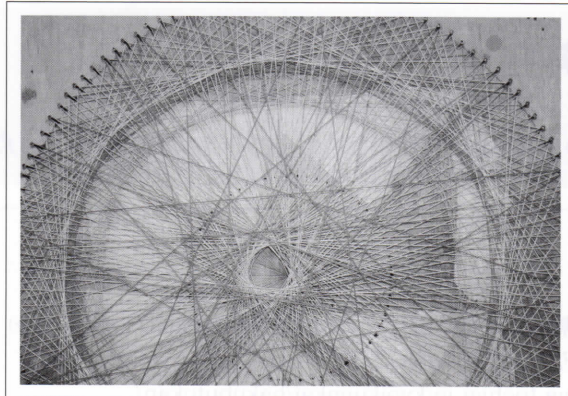
【生態】体長約8mmで、全体に黒銅色の光沢があります。左右に飛び出した大きな目と短い触覚を持ちます。羽に丸い模様があるのも特徴のひとつです。春の日中に、ヨシ焼きの後の湿った土の上を歩く姿を多く見かけます。1990年頃を境にその数が年々減っていますが、酸性雨や温暖化が原因のひとつと考えられています。遊水地で毎年春に行われているヨシ焼きは、本種の生息環境を守る意味でとても有効であると考えられています。春に繁殖する肉食性の昆虫です。

【分布】渡良瀬遊水地が唯一の生息地でしたが、近年、青森県でも確認されています。

季節の一枚 数字が潜む自然の世界

平成29年度と2017年はダブルで「素数」である。虚数を使えば、2017は $(44 - 9i)(44 + 9i)$ で因数分解できる。

上橋菜穂子の著書「精霊の守り人」では、現世と別の世界が融合している、チャグム王子がその世界を見る設定である。普通に見えている世界“サグ”のほかに、目にみえない“ナユグ”という世界があるという。仮に、虚数（ナユグ）の世界が見えたら、素数の本当の姿が見えるだろう。いったいどんな姿をしているのだろう。孤高の素数に内側に秘めた恋人がいたなんてロマンチックである。



素数で作る曼荼羅模様

現実の世界の思川沿いを散歩しながら思いを巡らしていると、鳥の声、学校から放送が聞こえてくる。<音速 = $331.5 + 0.5t$ > 思川沿いの桜の木は、顔をうすすらと染め春を待っている。積算日数で開花時期が予想できるという。青空は光の周波数に関係している。数字や公式が見える双眼鏡があれば違った世界をみることができ。そういう物欲が顔を出す今日このごろである。

小山市立博物館 友の会入会のご案内

友の会とは？

小山市立博物館を通じて、郷土の文化と伝統をたどり、会員の教養を高めるための会で、どなたでも入会できます。

活動期間 4月1日から翌年3月31日まで（更新可）

会費 年額 2,000円（学生及び17才以下は1,000円）

入会方法 博物館にある友の会入会申込書をご記入のうえ、会費を添えてお申し込みください。

入会すると

- ・博物館企画展の無料観覧
- ・年2回の友の会ニュース
- ・友の会主催の研修旅行、講演会等
- ・友の会学習部会（5部会）への参加



友の会作品展



「博物館まつり」での甘酒提供

友の会学習部会（5部会）

○土器の会（不定期）

縄文～中世の土器用土作り、成形、野焼き等を実施

○拓本研究会（毎週火曜日 9時～17時）

句碑、歌碑、絵碑などを採拓し、表装まで行う

○郷土史部会（第2、4土曜日 10時～12時）

市内の寺院等を調べ、その歴史や変遷をまとめる

○古文書を読む会（第2土曜日・第3水曜日 14時～16時）

会員同士の読み合わせにより古文書を解読する

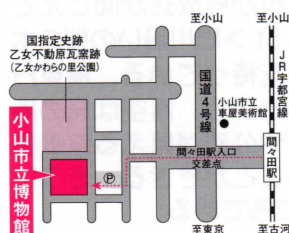
○^{てんこく}篆刻部会（第2、4木曜日 13時30分～15時30分）

篆刻の基礎を学びながら、年賀状や自印を作る

寄贈者芳名

次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。（敬称略）

■ 中島 恒雄（小山市） 東京日日新聞 1点 ■ 小山市立下生井小学校 生井の水害の写真 24点



発行年月日 平成29年3月15日

発行 小山市立博物館

〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)

電話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247

H P <http://www.city.oyama.tochigi.jp/kyoikuiinkai/hakubutukan/>

印刷 株式会社ダイサン小山